

ひまわり



令和2年12月1日(火)

命の重み



新型コロナウイルス感染症の第3波が急速拡大。前の土日は必要最小限の外出にとどめ、空いた時間で仏壇掃除をすることにしました。

仏壇は亡くなった先祖をお祀りするところ。先祖を思い、日々の暮らしに感謝する場です。暫く掃除をさぼっていたので、ほこりがたまっており、ご先祖様ごめんなさいという気持ちで掃除をしました。初めは面倒だなと思っていましたが、掃除を始めるとしだいにきれいになっていくので

楽しくなってきました。ほこりを払いながら、先祖からいただいた「命」について考えていました。

「人の命は地球より重い」と言われるように、命は何よりも大切にしなければなりません。そこで「命」について次の観点で考えてみましょう。

「つながっている命」…親がいて、その親がいて、またその親がいて……命は皆さんの代まで連綿とつながってきたのです。もし、先祖の誰か一人でもいなかったら、今あなたはここに存在しないのです。

「かけがえのない命」…あなたにとって、あなたを大切だと思う人にとって、あなたの命はかけがえのないもの。他者の命も同様です。だから、自分の命も他者の命も大切にしなければならないのです。

「限りある命」…命には限りがあります。誰にとっても、不老不死ということはありません。だからこそ、一日一日を大切に生きなければなりません。

「生かされている命」…生きているのか、生かされているのか。私たちは自分一人で生きているわけではありません。多くの人の支えの中で、私たちに命は生かされているのです。だから、日々の暮らしに感謝です。

普段は、このようなことについて、深く考える機会も少ないと思います。しかし、今を力強く生き、命を輝かせるため、先祖からつながってきた自らの命の重みに目を向けてみませんか。

本日から師走。「サントリー1万人の第九」「京都千本釈迦堂の大根だき」など、師走の風物詩が次々と中止になっています。クリスマスモードもなんとなく寂しげ。しかし、今は我慢の時です。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

